

立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

あべともこニュース

台風水害の克服を目指す、気候変動時代の流域治水を

◆人命・インフラに甚大な被害

台風19号は神奈川県内でも14人が亡くなるなど人的被害の他に、生活・社会・交通インフラに甚大な被害をもたらしました(下表)。

箱根町には1000ミリを超える降雨で土砂崩れ等が発生、箱根登山鉄道はバスによる振替輸送が始まっています。

今回の被害の特徴は大河川の氾濫です。62河川90カ所の堤防が決壊。越水や排水不良で253箇所で浸水しました。神奈川県城山ダムでも緊急放流が行われ、多くの住民が避難所に身を寄せました。

もう一つの特徴は「台風死者60歳以上が7割」(17日毎日新聞)と報道されたように災害弱者の避難の課題です。昨年の岡山県真備町の堤防決壊の被害を克服できませんでした。そして、これらはまだ被害の全様ではありません。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川県 12 区 (藤沢市・寒川町)
当選 7 回、東京大学医学部卒業、小児科医、あべともこどもクリニック (湘南台) 理事長
現在、厚労委員会・原子力問題調査特別委員会筆頭理事



あべともこ
公式Twitter
@abe_tomoko

https://twitter.com/abe_tomoko



あべともこ事務所
公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこと共に歩む会後援会入会のご案内及びボランティアスタッフ募集中!

特定の企業や団体などに依存しないあべともこの活動は、後援会の年会費やカンパによって支えられています。あべともこの活動にご支援頂ける方は、お気軽に事務所にお問い合わせください。

立憲民主党神奈川県連

〒231-0012
横浜市中区相生町 4-69-4F
TEL 045-228-8591
FAX 045-228-8592

こうした

水害が度重なる今、求められているのは、滋賀県などで始まった「流域治水」です。

豪雨被害

が激甚化する気候変動の時代が到来し、川が溢れること

さえも前提にした、まち・家づくり、住民参加の避難計画が必要です。

活用が叫ばれてきたハザードマップはますます重要。全国知事会は、不動産取引の際に水害履歴の開示を義務づける法改正を求めています。



放流する相模川上流の城山ダム(10月14日)

◆気候変動対策待ったなし

治水のあり方を変える一方、気候変動対策も必要です。16日には石炭火力抑制に関する質問主意書を提出、温暖化の原因物質である二酸化炭素削減に向けた政府答弁を求めました。

死者	78人
行方不明	15人
避難	4249人
堤防決壊/浸水	59河川90箇所/253箇所
土砂災害	19都県211箇所
停電	52万戸(最大)
断水	14都県15万戸(最大)
鉄道施設	7事業19箇所

非常災害対策本部(10月17日現在)などより作成